

あおむし人形劇団

取材日 2020年8月23日

大麻第二住区会館で公演



あおむし人形劇団は、今般のコロナウィルスの影響で、毎年出演していた「こいのぼりフェスティバル」が中止になったことにより、4月からの3か月間、練習を含む一切の活動を中止にしました。団員に高齢者が多いこともあり感染のリスクは避けられないためです。

今回、大麻第二住区青少年育成会が毎年行っている、朝のラジオ体操後のお楽しみ会として行っている人形劇公演の依頼を引き受けるにあたり7月から活動を再開しました。

この公演は8年ほど続いており、当代表だった団員の長瀬さんは、「商店街の夏祭りや神社のお祭りが中止になる中、すべてを中止にすると、子どもたちが楽しんだり人と交流する場がなくなってしまう、やめることは簡単だが、やめずに出来る方法を考えることの方が大事だと考え、この依頼を引き受けることにした」とおっしゃっていました。

会場は大麻第二住区会館で、入り口にはマスク着用の上、手指消毒を設置し、会場の換気を行った上、席の間隔を通常より広げて対応しました。

公演方法も「けこみ」の幅を広げ、前面にフェンスを使用し、場所を広く使えるように工夫しました。

来てくれる人はいるのだろうかという不安をよそに、定員いっぱいの子連れが来場しました。3つの演目とその間に、団員によるマジックショーと手遊びゲームを行い、会場は笑いと笑顔に包まれました。

稲村代表は「たくさん子ども達が来てくれてほっとした、待っている人たちがいる限り最善をつくしながら頑張っていきたい」と今後の意気込みを語っていました。



市民活動団体版出前講座で公演をお申し込みできます

あおむし人形劇団は市民活動団体版出前講座でご好評頂いております。詳細は下記をご覧ください。

お知らせ

——市民活動団体版出前講座を行っています。——

江別市内の市民活動団体が皆さんのもとに向き、それぞれの団体の持つ特性を活かした講座や講演などを行います。

※メニュー表は江別市民活動センター・あい、公共施設、市のホームページや窓口等で受けとることができます。

実施団体も募集しております。お申し込みやお問い合わせは江別市民活動センター・あい【TEL 011-374-1460 FAX 011-374-1461】まで

市民活動団体版出前講座事業は、江別市より委託を受けて、【NPO法人えべつ協働ねっとわーく】が行っています。



ebetsu collabo news

今、安心して訪れることの出来る居場所をとりもどすために

新型コロナウイルス感染症予防対策の為、以前は日常だった、人と人が直接会って交流する場を設けることが難しくなっています。また、様々な会を主催している団体でも、これからどうやって活動していこうか悩んでいるという相談をいただいていた。その中でいくつかの市民活動団体に、諦めずに工夫をこらしながら活動している主催者の想いや、感染症対策をしながら居場所を作っている様子をお伺いさせていただき事が出来ました。取材にご協力頂きました皆様には、改めて感謝申し上げます。

このお便りが、住民の方が安心して出かけられる目安に、また市民活動の参考の一助になれば幸いです。

子ども文化ネットワーク江別「こねっと」

取材日 2020年8月1日

“こねっと”旧まちむら農場おはなし会

子ども文化ネットワーク・江別「こねっと」では、感染症対策を実施して、7月からおはなし会を再開しました。建物入口での手指消毒の実施、受付で非接触体温計を使用した検温、通常の半分以下の定員にしています。また、今までは床に座っていたところを椅子にして、十分な空間を確保しています。

遠くからでも楽しめるように、大型絵本、おはなしパネルなど、ダイナミックな演目を選んでいます。普段プログラムに入っている工作は、道具の貸し借りによる感染を防ぐため中止、その代わりに、皆で楽しめる手遊びを多めにしています。

この状況で、対面での読み聞かせにこだわる理由をお伺いしたところ、おはなし会を通し、絵本の楽しさや親子でホッとできる場を大事にしたい、来場者は一人でもいいからという気持ちで始めたとのことでした。この日は、4家庭12人の親子が来場、子どもたちの笑顔に心が満たされました。

普段は、オカリナとコラボしたコンサート形式のおはなし会の開催、小学校の読み聞かせ団体との交流会の開催、こねっとフェスティバルなどを開催していますが、今年度はほとんどのイベントは中止になりました。旧まちむら農場を使ったおはなし会は続けていく予定です。次回は10月17日に開催します。

